

## 東京都立荒川工業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科・科目	工業(情報技術)・課題研究
対象学年・組	3年・D組 E組
使用教科書	
使用教材	

	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 学期	4 月	研究テーマの決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーションにより「課題研究」の授業について理解させる。</li> <li>・各自の課題及び関係分野を確認させる。</li> <li>・調査・実験・研究の対象となる課題を決める。</li> <li>・課題解決のためどのように学習を進めていくかを計画する。</li> </ul>	5
	5 月	それぞれのテーマで研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが立案した実習計画に沿って実習を行う。</li> <li>・実習の都度、到達度の確認と自らの取り組みに対する意欲を整理分析し、自己評価を行い、自らの意欲を喚起する。</li> <li>・当初の計画について、常に検証しより良いものとする。</li> </ul>	9
	6 月	それぞれのテーマで研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが立案した実習計画に沿って実習を行う。</li> <li>・実習の都度、到達度の確認と自らの取り組みに対する意欲を整理分析し、自己評価を行い、自らの意欲を喚起する。</li> <li>・当初の計画について、常に検証しより良いものとする。</li> </ul>	12
	7 月	それぞれのテーマで研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが立案した実習計画に沿って実習を行う。</li> <li>・実習の都度、到達度の確認と自らの取り組みに対する意欲を整理分析し、自己評価を行い、自らの意欲を喚起する。</li> <li>・当初の計画について、常に検証しより良いものとする。</li> </ul>	6
2 学期	9 月	それぞれのテーマで研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが立案した実習計画に沿って実習を行う。</li> <li>・実習の都度、到達度の確認と自らの取り組みに対する意欲を整理分析し、自己評価を行い、自らの意欲を喚起する。</li> <li>・当初の計画について、常に検証しより良いものとする。</li> </ul>	12
	1 0 月	それぞれのテーマで研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが立案した実習計画に沿って実習を行う。</li> <li>・実習の都度、到達度の確認と自らの取り組みに対する意欲を整理分析し、自己評価を行い、自らの意欲を喚起する。</li> <li>・当初の計画について、常に検証しより良いものとする。</li> </ul>	9
	1 1 月	それぞれのテーマで研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが立案した実習計画に沿って実習を行う。</li> <li>・実習の都度、到達度の確認と自らの取り組みに対する意欲を整理分析し、自己評価を行い、自らの意欲を喚起する。</li> <li>・当初の計画について、常に検証しより良いものとする。</li> </ul>	12
	1 2 月	それぞれのテーマで研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが立案した実習計画に沿って実習を行う。</li> <li>・実習の都度、到達度の確認と自らの取り組みに対する意欲を整理分析し、自己評価を行い、自らの意欲を喚起する。</li> <li>・当初の計画について、常に検証しより良いものとする。</li> </ul>	6
3 学期	1 月	研究発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対する整理・分析・考察、協議を行い学習に対する評価を行う。</li> <li>・研究成果の発表会を実施する。</li> <li>・レポートの提出、日誌のまとめと整理を行い、反省と生涯にわたって課題を持ち続けることの意義を認識させる。</li> </ul>	9
	2 月			
	3 月			